

先生は
どう思ってるん？



県内でも先進的な取り組みをしている 県立林野高校の先生にインタビュー！

県内でもICTの活用に熱心に
取り組んでいるのが『岡山県立林野高等学校』。
その先進的な取り組みは高い評価を得ています。
チームリーダーとしてICT活用を進める
瀬田先生に、ICTを学びの場で使うメリット、
気付きについて聞いてみました。



岡山県立林野高等学校 瀬田幸一郎先生
担当教科は化学。校内に7人いるICT活用プロジェクト
チームのリーダーを務めている

ICT活用で感じた可能性



事前に動画やスライドなどで授業内容を
把握してもらえることにより、実際の授
業ではすぐに実験や意見交換など主体的
に活動することができました。また、パソコン
の画面を見ながら生徒同士で話し合っ
たり、帰宅後も友だちと授業内容を共有し
会話のきっかけになったりと、自ら行動するようになり深い学びにつな
がっています。また、グループ内で対話しながら協働して課題に取り組む
機会も増え、生徒の表現能力やコミュニケーション能力も高くなりました。



▲化学の授業の様子

授業に参加しやすくなった

授業中に質問したくても、手を挙げて発言することにためらいを感じ
る人も多くいます。インターネット上に授業中や授業後に見られる共
有シートを用意して、自分のパソコンからコメントを投稿して質問
できるので、授業に参加しやすいと評判です。自分が投稿しないと見
ることができないような設定もあり、自主的な参加を促す仕組みも用
意しています。

今後していきたいこと

生徒ひとりに1台のパソコンを導入するようになって4年目。オンライン授業やインターネット上での情報
共有によるペーパーレス化、生徒会選挙や保護者懇
談のオンライン化など、これまでの経験があったから
こそ踏み切れた試みが
多くありました。これら
のノウハウを、美作市内
の小・中学校や同じ県
立高校などに伝えてい
ければと考えています。



▲美作市の教員に向けた研修



情報モラルや セキュリティ対策に ついての学びの場に



パスワードの重要性やアクセス制限があるページの意味
など、ネット社会で生きるための知識を授業でパソコンを使
う中で学べるようにしています。またインターネット上で発
言する際は内容や表現方法について読み手のことを意識す
るよう指導するなど、ネット社会でトラブルに遭わないため
の指導も行っています。

ICTは今後の私らには
不可欠だから、
情報と技術を上手に使って
いけるようにならんと！



〇〇に入る言葉を入れて、応募フォームのアンケートに答えて応募しよう！

「Information and Communication Technology」(情報通信技術)の略 「**ICT**」



当選賞品はこちら

「EIJMI MIYAMOTO」ティーバッグ2缶セット
3名にプレゼント！

※画像はイメージです。セット内容は写真と異なる場合がございます。

以下のURLまたはQRコードから応募フォームに進み、
必要事項を記入の上ご応募ください。

<https://tjokayama.jp/special/donenan2102/>

応募締切は2021年2月24日(水)まで

※プレゼントのご応募にあたり記載いただく氏名などの情報(以下まとめて「個人情報」)
は、法的業務を伴う開示請求を受けた場合を除き、当選者への商品の送付以外の
目的には使用いたしません。第三者が個人情報に不当に触れることのないよう
に、合理的な範囲内で厳重に管理いたします。個人情報の訂正・変更・そのほか
のご連絡は「株式会社ヒザビ メディア開発局 Tel.086-230-0182」までお寄せく
ださい。

